



福島市  
FUKUSHIMA CITY

令和4年度

# 12月補正予算(一般会計)主な補正内容

1. コロナ禍における原油価格・物価高騰等総合緊急対策関連 (追加)
2. 新型コロナウイルス感染症対策関連 (追加)
3. 令和4年3月16日福島県沖地震対応関連 (追加)
4. その他 (12誘導心電図の整備拡充など9事業)

## 補正予算額(一般会計)

# 46億1,922万円

(単位:千円)

事業費 合計	財源内訳			
	国	県	その他	一般財源
4,619,219	1,498,953	110,936	820,137	2,189,193

※一般財源のうち832,000千円は特別交付税

【参考】令和4年度予算累計額(一般会計)

# 1,320億2,061万円

# NO.

# 1

コロナ禍における原油価格・物価高騰等  
 総合緊急対策関連（追加）

2,700万円

（単位：千円）

事業費合計	財源内訳			
	国	県	その他	一般財源
27,000	—	—	—	27,000

※原油価格・物価高騰対策関連予算

累計予算額 44億4,994万円

# 物価高騰等に直面する農業者支援

## 農業用燃油価格高騰対策支援

補正額：23,000千円

高騰している燃油(A重油・灯油)代を支援します。  
特に、来期以降の燃油高騰に備える農家に対しては、補助率を拡充します。

### 【事業内容】

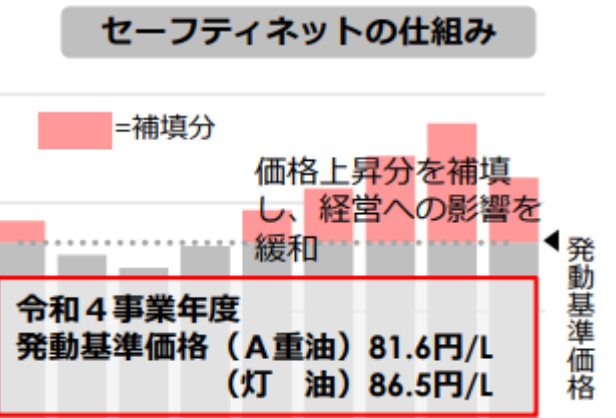
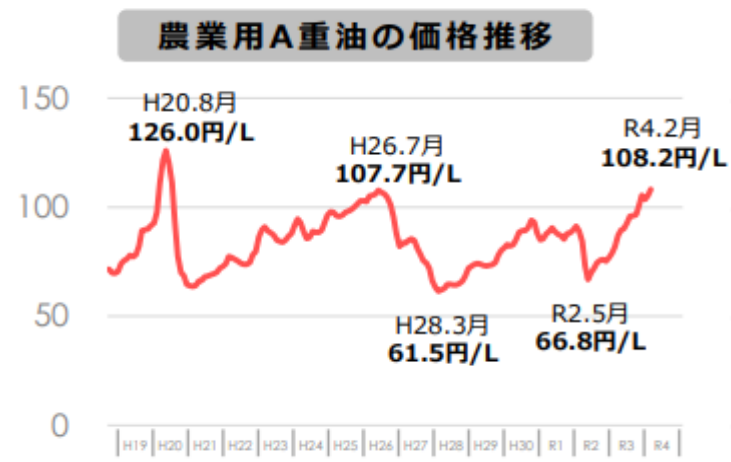
- (1) 対象者：A重油2,300ℓ以上又は灯油2,500ℓ以上購入する市内に住民登録のある農家  
(令和4年度に、5万円以上負担が増加する農家が対象)
- (2) 補助内容：令和4年4月から令和5年3月までの燃油購入量に応じた定率補助
- (3) 支援額： $(\text{平年価格からの高騰分} \times \text{購入数量} - 50,000\text{円}) \times \frac{1}{3}$   
※令和5事業年度 施設園芸等燃油価格高騰対策に加入した場合  $\frac{1}{2}$

### 施設園芸等燃油価格高騰対策

国と生産者が1：1で積み立てを行い、燃油価格高騰時に補填金が支払われる制度

対象：施設園芸農家3戸以上または農業従事者5名以上で構成する農業者団体等

要件：3年間で燃油使用量を15%以上削減する計画(省エネルギー等推進計画)の作成



# 物価高騰等に直面する事業者支援

## 米粉等利用拡大支援事業

補正額：4,000千円

円安やウクライナ情勢の影響を受けている小麦粉の代用原料として、唯一自給可能な米を原料とした商品の開発から生産段階における取組を支援します。

### 【事業内容】

- (1) 対象者：市内の食品の加工・製造を行っている事業者
- (2) 補助内容：①米粉等商品開発支援 ②米粉等商品生産支援
- (3) 支援額：①開発費実費の10/10 100,000円（上限）  
②商品に使用する米粉等の小麦粉との価格差の2/3相当額
- (4) 要件：福島市産の米粉等を2割以上使用した商品であること

区分・内容/対象期間		R5. 1月～3月	R5. 4月以降
①米粉等商品開発支援 (新規商品)	原材料費、デザイン費、 PR費用など	1月1日以降開発したものを支援	支援継続 の予定
②米粉等商品生産支援 (既存・新規商品)	米粉等を使用した量に応じ 価格差の2/3相当額を補助	1月1日以降生産したものを支援	

NO.

2

新型コロナウイルス感染症対策  
(感染防止対策・コロナ後を見据えた変革)  
追加

2億9,900万円

(単位:千円)

事業費合計	財源内訳			
	国	県	その他	一般財源
299,000	166,395	—	—	132,605

※一般財源は繰越金

# 感染防止対策

## 第8波に備えた検査・医療費の追加

**補正額：292,000千円**

今後予見される第8波へ備えるため、医療機関が実施するPCR等の検査費用、入院措置にかかる医療費を追加します。

### 【医療機関でのPCR検査等】

当初想定 90,000件 → 160,000件分  
補正予算額：196,000千円  
累計予算額：412,000千円

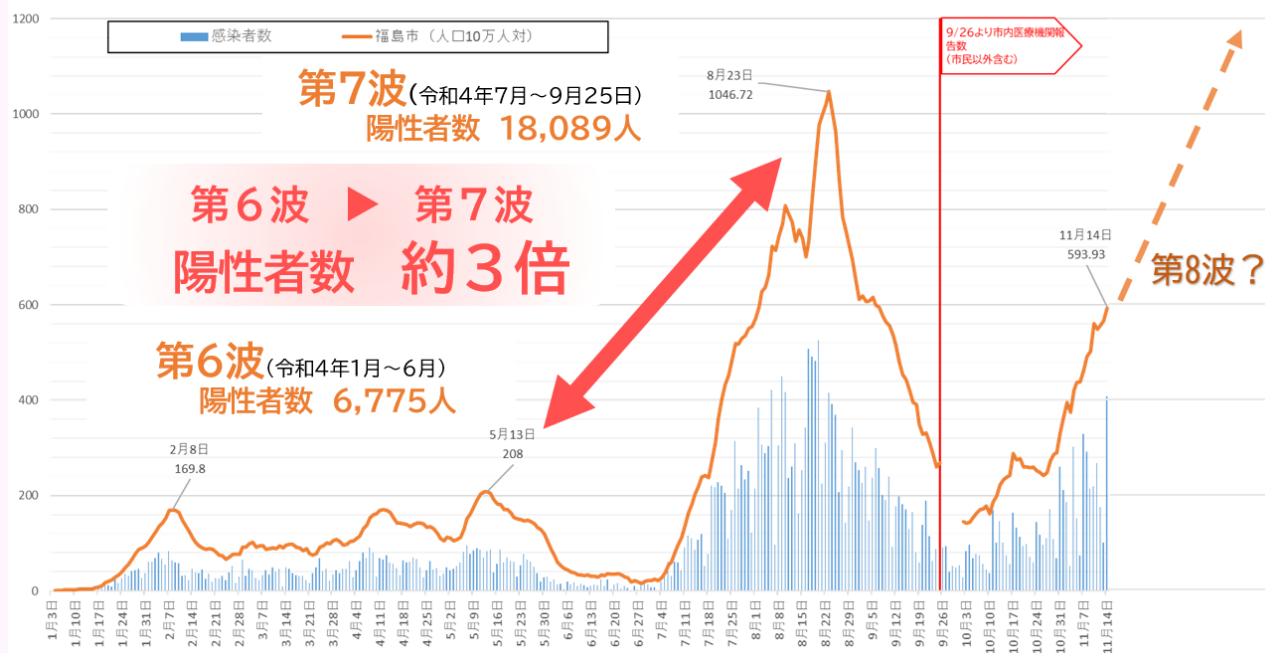
### 【入院医療費】

(1人あたり入院平均日数 約9日)  
当初想定 800人 → 2,200人分  
補正予算額：96,000千円  
累計予算額：176,080千円

新型コロナ・インフル同時流行に備えよう！

**早期のワクチン接種にご協力を！**

### 福島市の感染状況(第6波と第7波の比較)



当初予算で備えていた件数ベース オミクロン株により、全国的に過去最大の感染拡大

# コロナ後を見据えた変革

## シェアサイクルの拡充

コロナ禍で利用が増えているシェアサイクルを、燃料費高騰等による移動手段の転換も見据えて拡充し、まちなかの移動の利便性を向上します。

(サービス拡充経過)

R4. 3月  
7月

支払い方法にキャリア決済を追加  
サイクルポートを3か所追加 (計15か所)  
現金精算機のプラン追加 (1回券など)

(予定) R5. 7月

ポート数3か所追加 台数20台増

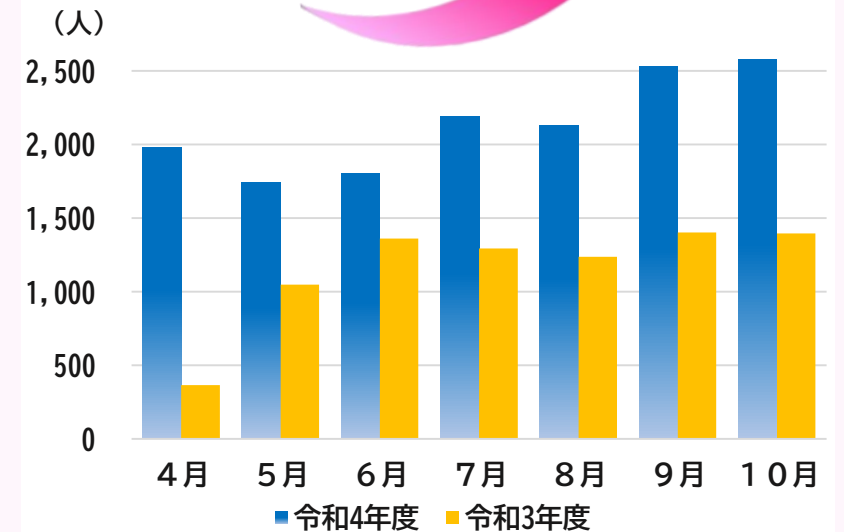
補正額：7,000千円



利用増

### 【スケジュール (予定)】

区分	R5.1月	R5年2月～6月	R5.7月
シェアサイクル 拡充 (20台増)	 自転車 発注  15か所 50台で稼働	 ※新型コロナの影響により サプライチェーンが停滞 納期までに半年程度必要	 18か所 70台 利用可能  ポート数：15か所から18か所へ 台数：50台から70台へ





NO.

3

令和4年3月16日福島県沖地震対応関連  
(追加) 20億9,200万円

(単位:千円)

事業費合計	財源内訳			
	国	県	その他	一般財源
2,092,000	1,040,000	10,800	—	1,041,200

※一般財源のうち、832,000千円は特別交付税

※令和4年福島県沖地震対応関連予算

累計予算額 64億4,107万円

## 災害等廃棄物処理費の追加

**補正額：2,080,000千円**

3.16福島県沖地震により被害を受けた被災家屋の公費解体費用等について、申請結果を踏まえ予算を追加します。

### ●被災家屋解体の申請状況

区分	公費解体	費用償還
当初想定	354件、525棟	131件、185棟
補正後見込み	484件、641棟	195件、252棟

当初想定 710棟  
 予算額:3,003,000千円(R4.4月議会ほか)



実績見込み 893棟  
 予算額:5,083,000千円

## 一部損壊住宅修理支援の追加

**補正額：12,000千円**

3.16福島県沖地震により住宅に「一部損壊」の被害が生じた世帯を対象に、日常生活に不可欠な部分の修理に20万円以上要した費用の一部を定額で補助する支援について、当初の想定を上回る申請が見込まれることから予算を追加します。(R5.2月受付終了予定)

### ●支援制度

区分	(罹災証明)	補助金額
一部損壊住宅修理	・一部損壊 (10%未満の被害)	100,000円 (定額)

当初想定 400件  
 予算額:40,000千円(R4.4月議会)



実績見込み 520件  
 予算額:52,000千円

NO.

4

その他

22億122万円

(単位:千円)

事業費合計	財源内訳			
	国	県	その他	一般財源
2,201,219	292,558	100,136	820,137	988,388

## 12誘導心電図の整備拡充

補正額：16,528千円

市が常時使用する全ての救急車（10台）に12誘導心電図伝送装置を配備し（現在3台）、リアルタイムに心電図を病院と共有して救急患者の救命率向上を目指します。

（県の補助金を活用）

### 【現在までの経過】

8/15 救急車3台に搭載し市内2病院と運用開始（県内初）

9/20 緊急カテーテル手術可能な市内7病院全てで運用開始



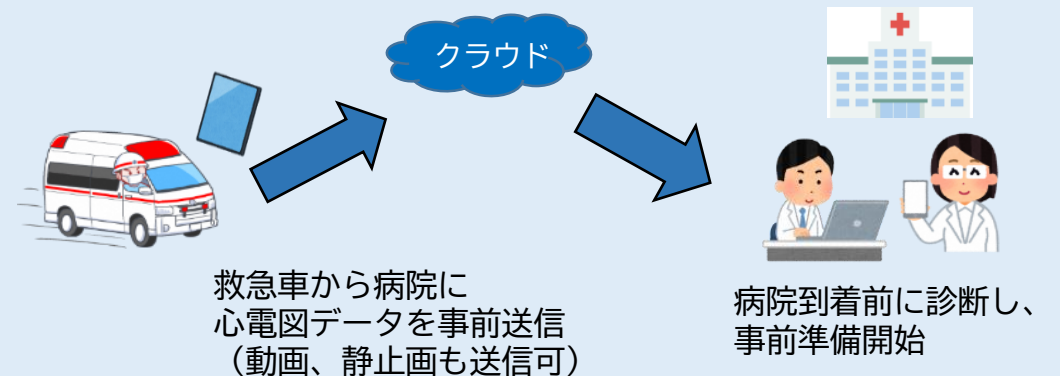
（救急車内部の様子）

### 【実証運用の結果（導入から3カ月）】

- ・病院への伝送件数（8月15日～11月14日） 66件
  - うち 急性心筋梗塞 7件
  - （うち緊急手術6件 後日手術1件）

手術を受けた結果は全員良好。  
救命率向上に高い効果が実証された。

### 【12誘導心電図伝送のイメージ】





# ふるさとアグリBOXを使用した実証実験

～ふくしまから旬を込めて～

補正額：7,200千円

一度に多くの品目を楽しめるアソートBOXを使用した販売方法により、くだものの詰め合わせ（アソート）商品などのブランド化を図るため「ふるさとアグリBOX」を作製し、販売効果等の検証を行います。

また、規格外となってしまった農作物の販売促進を図るため、「アウトレットBOX」を作製しフードロス削減の推進と生産者の経営安定化を支援します。



## 【事業の内容】

◆ふるさとアグリBOXの作製  
プロモーション

◆アグリBOXを使った実証実験  
実際にBOXを利用する事業者などで組織する検証委員会にて消費者ニーズと販売効果等を検証する

スケジュール	令和4年度				令和5年度
	12月	1月	2月	3月	4月～R6.3月
ふるさとアグリBOXの作製		業者選定 契約		BOX 製作	
プロモーション				プロモーション 準備	プロモーション

## 街なかにぎわい創出の基盤整備

街なか賑わい創出プロジェクトの活動基盤をネットワーク上に整備し、メンバーの活動・イベントの見える化、連携を促進することで、イベントの集客増や街なか賑わいづくりの一層の活性化を図り、街なかの賑わい創出に取り組みます。

### 【現在までの経過】

- 本年 7月 4日 街なか賑わい創出プロジェクトスタート【11団体】
- ～ メンバーの拡充・情報共有を促進 【11/14現在：41団体】
- 9月22日 市HPにイベントカレンダー公開
- 11月29日（予定） メンバー交流会

### 【事業の内容】

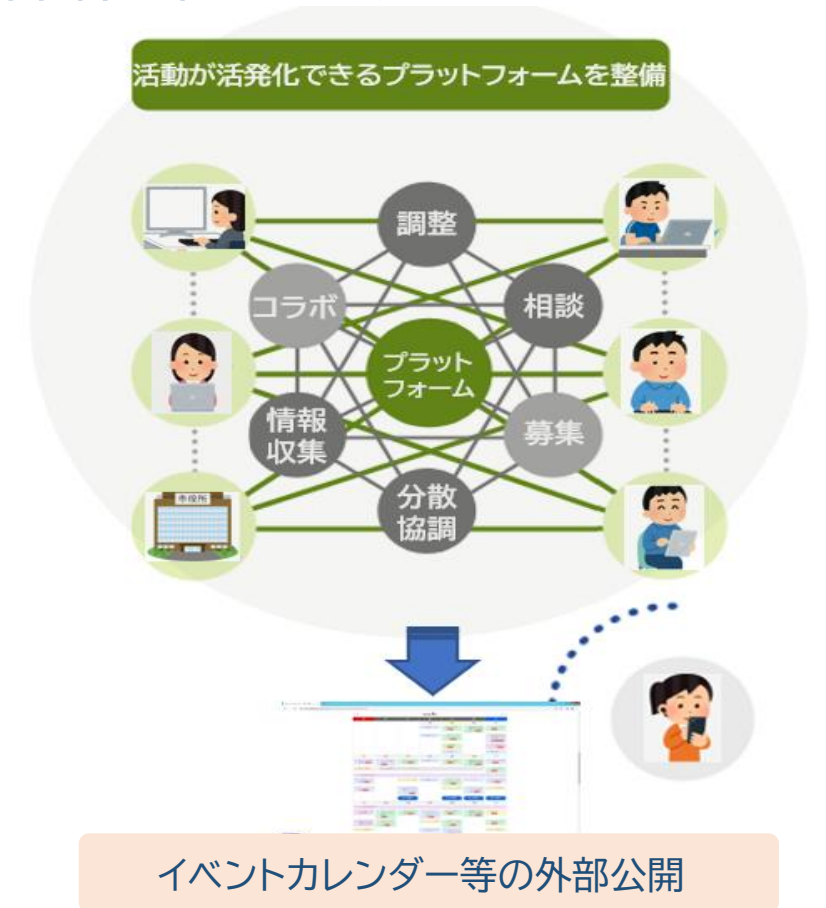
#### ◆ システム構築・運營業務委託

#### ※主な機能

メンバーチャット、イベント共有  
 カレンダー等の外部公開

#### ◆ システム運用開始 令和5年4月（3月より試験運用開始）

補正額：6,000千円



## 学力向上サポート ～図形領域の理解促進～

補正額：3,900千円

小学3年生の算数科において、木製のタングラムを取り入れた学習活動を行い、算数の図形学習に意欲的に取り組む環境を整えます。

### 【期待される効果】

- ①考える力が養える。
- ②達成感が得られる。→自己肯定感が育てられ、向上心をもたらす。
- ③図形感覚が豊かになる。→算数、数学科の図形問題が得意になる。



## 福島ふれあいパークのリニューアル

補正額：16,000千円

保健福祉センターへ健診に来られる親子の憩いの場や、近隣の児童により親しまれ利用される公園とするため、複合遊具と築山を設置します。

### 【スケジュール】

～ワークショップによる遊具の決定後、工事発注～  
令和5年6月下旬完成予定





# 街路灯LED化推進

**補正額：10,000千円**

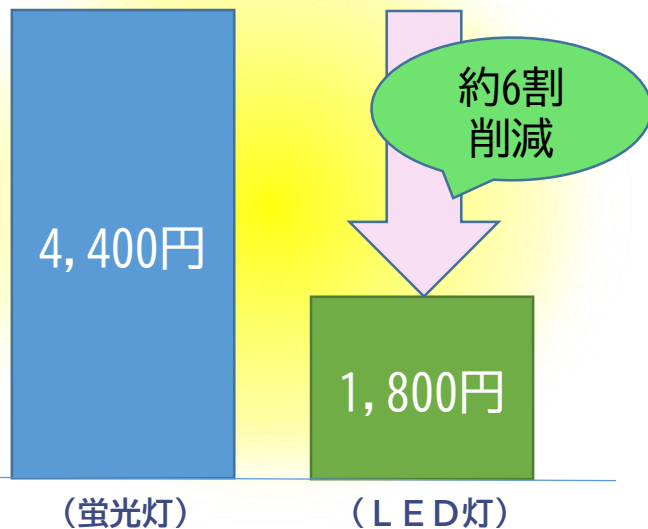
従来の街路灯と比較して電気料金が節減され、平均寿命の長いLED灯への置き換えを加速し、脱炭素社会の実現へ向けた取り組みを推進します。

【事業内容】当初計画の年間1,000灯から、200灯追加し、1,200灯をLED化

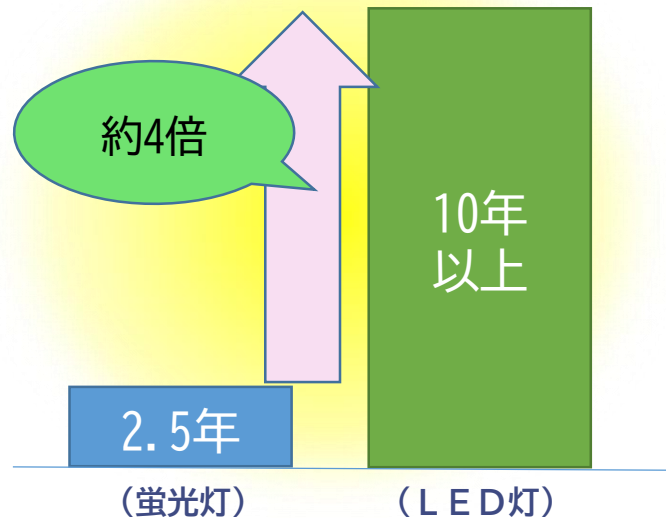
当初計画を2年前倒しし、令和9年度にLED化100%達成を目指します。

R3年度末 街路灯数  
19,256灯  
うち、LED  
11,820灯 (61.4%)

1灯あたりの電気料金（年）



器具の平均寿命



(蛍光灯)



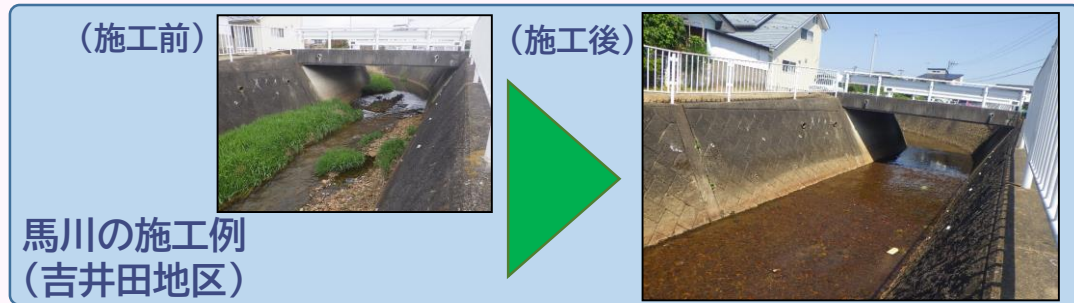
(LED灯)



## 河川土砂浚渫

**補正額：40,000千円**

大雨による浸水被害の発生を未然に防止するため、市が管理する河川・水路の浚渫を来年の増水期前に間に合うよう、前倒しして実施します。



(14河川で実施)

五十辺地区…猫渚川 東部地区…胡桃川  
 渡利地区…小舟入川 北信地区…耳取川、渋川  
 吾妻地区…内川、大堀川 松川地区…下浅川、町裏川  
 飯野地区…境川 西地区…辰巳沢  
 信夫地区…八貫川、松塚川、蛭川

## 障がい者支援サービス給付費の追加

**補正額：300,714千円**

障がい福祉サービスの利用者・利用件数が増加していることから、サービス給付費を追加し、生活を支援します。

●決算（見込み）の推移

令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度補正後予算
4,621,451千円	5,084,408千円	5,669,068千円	6,196,077千円 (対前年109.3%)

(障がい者自立支援事業費、児童発達支援事業費の合算)